

「元気とやま創造計画アクションプラン(R5年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	10 家庭・地域の教育力の向上
政策目標	子どもたちが、学校、家庭、地域の連携・協力のもと、安全・安心な環境の中で、基本的な生活習慣や社会性を身につけ、豊かな人間性を育み、健やかに成長していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R5予算額	
(1)社会全体で子どもを育む教育環境づくり	■地域や大学等との連携などによる学校の教育活動の支援 ・【拡】社会に学ぶ「14歳の挑戦」事業(再掲) 県内全公立中学2年生(義務教育学校8年生を含む)全員が、5日間、学校外で職場体験活動や福祉・ボランティア活動等に参加 ・富山型キャリア教育充実事業(再掲) ー県立高校におけるインターンシップなどのキャリア教育を推進するとともに、アカデミック・インターンシップなどを含めた「社会へ羽ばたく17歳の挑戦」事業を推進 ー普通科における職業教育プログラムの推進 ・とやまの小・中・高校生ライフプラン教育の充実(再掲) 児童生徒の発達の段階に応じて富山の良さを学び自らの生き方を考えるライフプラン教育を充実 ・とやまの高校生マイスター育成事業(再掲) 地域の産業界を牽引する職業人材の育成・定着促進を図るため、ものづくりや農業クラブ活動、資格取得に向けた生徒への支援を実施し、マイスターとして認定する ・とやまの特別支援教育強化充実事業 ー小中学校巡回指導員及び高等学校巡回指導員の配置や外部専門家の派遣による学校への支援の充実 ー管理職や教務主任等を対象とした研修や、11年次教職員研修において小中学校の全教員が特別支援学校での体験研修を行うなど、特別支援教育における教員の専門性の向上 ・【新】SDGsインクルーシブ教育システム推進事業 ーインクルーシブ教育システムの理念の啓発のための情報発信 ーインクルーシブ教育推進員による小中学校への学びの場の見直しへの助言 ・特別支援学校就労応援事業 ー特別支援学校就労応援コーディネーター及び障害者就労定着サポーターの配置 ー就労体験等の協力企業の「特別支援学校就労応援団とやま」への登録 ー早期からの仕事体験等、キャリア教育や就労支援の充実 ・武道指導者資質向上支援事業(再掲) 武道の授業に地域の人材を派遣し、教員の指導力の資質向上を図る ・スポーツエキスパート活用推進事業(再掲) ー県立学校の運動部活動に地域の優れたスポーツ指導者をテクニカルエキスパート、トレーニングエキスパートとして派遣 ー市町村が行う中学校へのスポーツエキスパート派遣に対する支援 ・とやま元気っ子スポーツライフサポート事業 運動指導方法の研修会や体育授業への専門家の派遣等により、運動好きな子どもの育成とともに体力向上を図る ・学習支援等大学生派遣事業 県内および近県の教員志望の大学生を学習補助者として小学校等に派遣し、児童・生徒の学習意欲の向上や学校生活の安定を図る ー学びのアシスト推進 ースタディ・メイト・ジュニア派遣 ー実験観察アシスタント ー心のサポーター派遣 ー英語学習パートナー派遣 ー外国人支援スタッフ派遣(別予算)	14,900 12,900 3,043 3,500 11,907 7,327 4,301 12,055 800 5,643	
	(2)豊かな心を育む地域の教育力の充実	■ふるさと学習や自然体験活動の推進 ・【新】公民館deつながるモデル事業 地域住民の交流の拠点である公民館がこれまで提供してきた集合対面型の事業とデジタルを組み合わせ、人々が多様につながる新たな公民館活動の創出を支援する ・親子で学ぶインターネット活用術体験事業 家庭でのネットの活用の仕方やルールを、親子で動画制作やインターネットへの配信を通して学び、安全なネット活用の実践を目指す また、親子で学び、家族で動画製作するなどにより、家庭の絆を深め、「とやま県民家庭の日」の活動を促進する	2,000 1,200

(3)家庭の教育力の向上	■親自らが親の役割について学ぶ活動の普及・充実 ・とやま親学び推進事業(再掲) 「親学びノート(小・中学生編)」「親学びノート(乳幼児編)」の保護者への配布、 「とやま親学び推進協議会」の設置、リーダー等の養成・配置により、乳児から 中学生の子どもをもつ親を対象とした「親学び講座」の充実・推進	3,365
	■家庭教育に関する相談体制の充実 ・家庭教育総合相談事業 子育て情報ホームページによる情報提供や、電話相談やカウンセリング、電子メール 相談等の実施	4,774
	■家庭教育に関する情報提供の充実 ・ほっとネッ!とやま家庭教育ナビ事業 子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する情報を提供	2,000
	■子どもの自主的な読書活動の推進 ・子どもの読書活動推進事業 家庭・地域・学校における子どもの自主的な読書活動を推進する	2,370
(4)児童等の安全の確保	■子どもたちの安全を確保する取組への支援 ・子どもの登下校安全対策事業 市町村で委嘱するスクールガード・リーダーの配置、学校安全パトロール隊等に要する 経費について支援するもの	1,748
	・学校安全アドバイザー派遣事業 モデル校に学校安全アドバイザーを派遣し、防犯・防災の危機管理マニュアルと避難訓練 の見直しを実施	424

<参考>

活動指標

指標名	現況 R3年度	目標		指標の説明
		R3 (2021年度)	R8 (2026年度)	
「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」の実施状況 (中学校)(再掲)	全校で 実施 (R1)	現状維持	現状維持	「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」事業を実施している 中学校、義務教育学校の割合 ※現況:R3は新型コロナウイルス感染拡大防止の ため78校中22校のみ実施
公民館における地域課題の解決に向けた 学びや自然体験・ふるさと学習への参加 人数	5,680人	-	10,000人	公民館における地域課題の解決に向けた学びや 自然体験・ふるさと学習への参加人数
「親学び講座」参加総数	19,252人	-	39,000人	「親学び講座」に参加した人数